

平成 26 年度 SSH 活動記録のページ

平成 26 年度 12 月 SSH 活動記録

平成 26 年度 12 月の球陽高校 SSH の取り組みを紹介します。

2014. 12 | 台湾永豊高校交流

今回の SSH 探究 I の授業は 1 年生が一度やったことがある実験を英語で台湾の高校生に教えるというものです。

物理は摩擦実験、化学はナイロン作り、生物は細胞のスケッチ、地学は雲作り、数学は多面体作りを紹介していました。



2014. 12 | SSH 講座「もしも地球が立方体だったら Cubic Earth」

12 日(金)放課後、京都大学大学院人間・環境学研究科から来られた酒井敏教授による「もしも地球が立方体だったら Cubic Earth」は大盛況でした。

C G ムービーの映像を見ながら地球が立方体だったら重力はどうなるのか、大気や海はどうなるのか、生物はどうなるのか等、色々な視点から科学的考察を述べてもらいました。



2014.12 | O I S T主催! SCORE!!

13日(土)にO I S TでSCORE!が開催されました。SCORE!とは、県内高校生への体験型理科教育を発展させることと起業家精神に感心を持ってもらうことをいとするとともに英語立県沖縄への取り組みを支援する発表会のことです。球陽高校からは「天然の紫外線吸収物質を探そう」、「基質の違いに着目したパン酵母の活用」の2チームが発表しました。審査委員からの質問にも緊張した様子で答えていました。今回の経験を活かしてこれからの研究活動、発表活動のより一層の活躍に期待しています。



2014.12 | S S H探究II分野別発表会

16・17日のSSH探究IIの授業は分野別の発表会を行いました。2年理数科のこれまでの研究を1年理数科や先生方に発表しました。発表する側も聞く側も真剣で緊張感のある発表会でした。次はいよいよ2月に行われるSSH研究成果発表会です。このときは外部から研究職の先生方などがお見えになります。2月の発表会は今回の発表経験を活かしてより良い発表になると思います。



2014. 12 | カデナハイスクール交流会

17日(水)にカデナハイスクールとの交流会が行われました。SSH 探究 I の授業では普段のような実験をしているかを、球陽高校の生徒がカデナハイスクールの生徒に紹介しました。実験内容を英語で伝えるのは難しく、球陽生達は事前に科学用語を英語で調べてきていました。しかし、カデナハイスクールの生徒達も流石で、ある程度の日本語が分かるようで、向こうは日本語、こちらは英語をしゃべるといふ、面白い異文化交流になり、なんとか実験内容も伝わったようでした。

2014. 12 | Dr. Octopus

19日(金)に OIST から頭足動物の博士である Dr.Eric Warren Edsinger による講座が生物室で行われました。ノーベル賞を受賞した超解像顕微鏡を使って、実験生物としてこれから頭足動物が重要になるのではないかと教えていただきました。生徒達はイカやタコを実際に見たり触ったりして楽しむと共に、最先端の研究がどのようにして行われるかを学ぶことができたようでした。



2014. 12 | SSH 第 2 回運営指導委員会

24 日(水)に球陽高校会議室で SSH 第 2 回運営指導委員会が行われました。OIST や琉大の運営指導委員の先生方がいらっしゃいました。今回は SSH 探究Ⅱの授業の見学や、新しくできた理科棟 1 階にある SSH 実験室を見学なさいました。SSH 探究Ⅱの授業見学では運営指導委員の先生方が生徒に直接質問やアドバイス等を伝え、生徒は緊張した様子で受け答えしていました。

SSH の運営方法についても多くの具体的な助言を教えていただき、高大連携についてもお声をかけていただきました。

